

氏名	丹野 祐美	部署	看護学科	職名	助教
研究分野	公衆衛生看護学				
学位	修士（看護学）				
学歴	埼玉県立大学保健医療福祉学専攻博士前期課程看護学専修				
経歴	2023年埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科助教				
所属学会（役職）	日本公衆衛生学会				

【2023年度実績】

1. 研究業績							
(1) 著作							
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月	
1	該当なし						
(2) 論文							
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	該当なし						
(3) 学会発表							
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市		発表者（発表者は○印）	発表等年月	
1	乳児を持つ父親の育児情報の活用に関する実態調査	共同	第70回日本小児保健協会学術集会、神奈川		○関美雪,石崎順子,柴田亜希,伊草綾香,寺内(丹野)祐美,黒澤恭子,村松直美	2023.6	
2	乳児を持つ養育者のヘルスリテラシーの実態と心理的ストレスとの関連	共同	日本地域看護学会第26回学術集会、神奈川		○関美雪,柴田亜希,石崎順子,寺内(丹野)祐美,伊草綾香,黒澤恭子,村松直美	2023.9	
3	中高年向け運動教室の長期評価ー参加群と対照群の8年間の累積死亡率の比較ー	共同	第36回日本保健福祉学会学術集会		○丹野祐美,延原弘章,関美雪,津野陽子,柴田亜希	2023.9	
(4) その他							
	名称	単・共	発表場所等		発表者（発表者は○印）	発表等年月	
1	該当なし						
2. 競争的資金等の研究							
	競争的資金等の名称	研究名		研究代表者・研究分担者の別	研究期間		
1	該当なし						
3. 教育業績							
(1) 講義							
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）			
1	公衆衛生看護学		4	保健師の個別支援について、ファシリテーターとして各グループで活発なグループワークが行えるよう促した。			
2	地域看護学Ⅰ		1	行政（保健所）における地域看護活動について、感染症法や施策を中心に講義を行った。			
3	公衆衛生看護展開論Ⅱ（精神保健）		2	精神保健を中心として、様々なライフステージにおける心の健康づくりや災害時の心の健康支援について視聴覚教材の活用やワークを交えつつ講義を行った。			
(2) 演習							
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）			
1	地区診断論		15	健康課題を明確化するために、実習地を事例とした健康指標等のデータを用いた演習を行い、公衆衛生看護学実習の実践につながるよう工夫をした。			
2	地域看護学Ⅲ		6	在宅看護における看護過程の特徴と展開の方法について、事例の情報からアセスメントと看護過程の展開までの演習を行った。			

(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	公衆衛生看護学実習		2023.6	地域の健康課題とその解決に向けた公衆衛生看護活動の特徴や保健師の支援方法が深まるよう指導した。
2	地域看護学実習		2023.10～2023.12	訪問看護ステーションや地域包括支援センターにおける看護職の役割や、家族支援の理解を深めるられるよう学習支援を行った。
3	総合実習		2023.7	地区踏査を踏まえた保健事業の企画・実施・評価の一連のプロセスの学習と公衆衛生看護活動における保健師の役割の理解を深めた。
4	IPW実習		2023.10	IPW実習の目的に沿って、所属の異なる学生一人一人が主体的に参加し、ディスカッションを重ね、チーム活動が円滑に進むよう支援した。
(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	該当なし		主指導	副指導
(5) その他				
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	保健師就職支援	2023.6～2024.3	保健師就職を志望する学生への就職支援（就職相談、模擬面接等）	
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	令和5年度埼玉県新任保健師研修	埼玉県	相談支援基本とキャリアラダーを用いた活動の評価のコーディネート	2023.6 2023.12
2	オープンカレッジ 卒業生等支援講座「卒業生保健師勉強会」	地域看護学領域 会」	①ヤングケアラーを支えるために、私たちにできること ②セルフ・ネグレクトの理解と支援 コーディネーター・情報交換のファシリテーター	2023.7 2023.10
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称		任期
1	該当なし			
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容		年月
1	該当なし			
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	該当なし			
5. 学内運営				
	項目	内容		期間
1	学科等における委員会等	SPU学会総務		2023.9～2024.3
2	大学広報活動	オープンキャンパスにて地域看護学ブースを担当		2023.8
3	学生支援	学生キャリアスタッフプロジェクト冊子「教えて！先生のキャリア」のキャリアモデルの一例として記事を作成し、インタビューに協力した。		2023.11～2024.2
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）				
	受賞名	主催		受賞年月
1	第36回日本保健福祉学会学術集会 優秀発表賞	第36回日本保健福祉学会		2023.9
7. 特許の取得				
	特許名	特許番号		登録年月
1	該当なし			
8. 特記事項				
1	該当なし			